QCD評価報告書

プロジェクトマネジメント演習

2015年7月23日

　ユーザ：　田隈　広紀　様

シニアマネージャ：　矢吹　太朗

矢吹研C班

メンバ

PM 1342014 泉雄太

メンバ 1342011 石川大貴

1342066 島田樹

1342100 春川直幸

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| シニア承認 | ユーザ承認 | PM確認 |
|  |  |  |

QCD評価報告

Q:Quality

品質目標は，外部設計書で指定したQRコードを使い，野菜の詳細情報を伝えるシステムを完成させることである．システムの完成とテスト報告の35項目中34項目のチェックに成功したので達成したと言えるだろう．しかし問題点として外部設計書における設計工程が多く削除する部分が多かったため，品質目標が完全に達成したとは判断できない．

今後は，上流工程のチームやユーザと話し合い，達成すべき品質目標を確立させる．また，チーム内レビューを積極的に行い，ドキュメント品質を上げる．

C:Cost

コスト見積りで見積もった想定作業時間は280時間であり，実際に280時間掛かった．しかし，成果物ごとの計画稼働時間が想定作業時間の見積と異なった．

内部設計書の変更箇所が多く想定作業時間より時間が掛かってしまった．プログラム実装に想定より時間が掛からなかった．

作業を引き継いだ際に，成果物ごとのコスト見積の見直しが甘く，想定より時間が掛かってしまった．

今後は，コスト見積の見直しを徹底すべきだと考える．

D:Delivery

プロジェクトが遅延した原因は以下の二点である．

内部設計書の変更箇所が多かったため想定していた納期より時間がかかり，遅延が発生しプロジェクト全体に影響を与えた．

PMの体調不良があり，代理のPMを任命していなかったため作業が円滑に進まなかった．

今後は，定量的にタイムマネジメントを見積もり，PMの不慮の事態に備えてサブPMを任命すべきだと考える．

コスト見積もり見直し

コスト見積もりの見直しには類推見積もりを使用する．

また，類推見積もりとその他の見積もり方法を組み合わせて見直しの精度を上げる．

類推見積もり:　(過去の類似したプロジェクトで使用したスコープ，コスト，予算，期間または規模などの尺度の同一のパラメーターまたは測定値を使用する．)